

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート

章	基本 目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価 【▼】	評価の根拠	次期計画 (こども計画)への掲載の有無	課題・今後の方向性
第3章 印西市の子育ての目指す方向											
3	1 基本目標1 子どもが安心して成長できる環境づくり										
3	1	施策1 子どもたちの「居場所」づくりの推進									
3	1	1	①	児童館等の充実	○児童館等は、そうふけ児童館、いんば児童館、子どもふれあい センター、中央駅前地域交流館の4館を設置しています。 ○児童館では、地域の子どもたちに健全な遊びの場を提供する とともに、子どもたちの健康を増進し情緒を豊かにするために、施設ごとに事業を展開しています。	子育て支援課	児童館等4館設置。 地域のこどもたちの健全な遊び場の提供、子どもたちの健康の増進と情緒の豊かにするための事業の実施。 そうふけ児童館:事業回数41回、参加人数1,804人。いんば児童館:事業回数86回、参加人数1,857人。子どもふれあいセンター:事業回数129回、参加人数3,151人。中央駅前交流館:事業回数60回、参加人数923人。	実施できた	事業内容に沿って事業を行うことができた。	有	子どもたちの健全な遊び場の充実を提供し事業を実施していく。
3	1	1	②	児童遊園・子どもの遊び場の充実	○子どもたちの健康を増進し情緒を豊かにすることを目的とし、健全育成の場を提供しています。 ○児童遊園:6か所(六軒弁天児童遊園、木下児童遊園、鎌苅児童遊園、造谷児童 遊園、瀬戸児童遊園、師戸児童遊園) ○子どもの遊び場:4か所(木下池田子どもの遊び場、木下町並み子どもの遊び場、荒野 子どもの遊び場、やわら子どもの遊び場)	子育て支援課	遊具点検 1回(10か所)、樹木剪定 1回(3か所)、薬剤散布 1回(8か所)、除草 3回(2か所) 遊具の設置(インクルーシブ遊具)及び撤去工事(1か所)、看板更新工事(10か所)、車止め設置工事(1か所)	実施できた	事業内容に沿って事業を行うことができた。	有	新設が必要な遊具に関しては、積極的にインクルーシブ遊具を導入していく。
3	1	1	③	保育園の園庭開放	○保育園や幼稚園に未就園の子どもとその保護者に対し、公立保 育園の同年齢や異年齢との交流の場、親同士のコミュニケーションの場として園庭を開放しています。	保育幼稚園課	市内公立保育園にて園庭開放事業を実施した。	実施できた	公立保育園で27回33組67名の参加	有	ほいくえん通信「にこにこだより」などで、開放日をお知らせしているが、今後も更に利用者が増えると良い。
3	1	1	④	学童保育(学童クラブ)の整備	○待機児童が発生しているまたは見込まれる地区において、学童 クラブの新設及び増設を実施します。	生涯学習課	令和7年度に向けて、民間学童クラブ(1か所)の新設に係る補助を実施した。	実施できた	原すくすく児童クラブ(印西市子ども・子育て支援施設整備補助金)	有	待機児童解消のため、待機児童が発生している都を把握し、小学校等を活用した施設整備を進めていく。
3	1	1	⑤	放課後子ども教室の充実	○放課後子ども教室の実施・支援を行いながら、教室の増設を目指します。	生涯学習課	放課後子ども教室(1か所)を開設した。	実施できた	放課後子ども教室(原山小学校)	有	放課後子ども教室の実施・支援を継続する。また、拡充等については、地域住民のボランティア活動や協力を得て実施していることや、開設場所の確保を要するため、地域の状況に応じて検討していく。
3	1	1	⑥	子どもの学習支援事業の実施	○生活保護世帯、ひとり親世帯、生活困窮世帯等の小学校4年生 から18 歳までを対象に、毎週水曜日と土曜日に「子どもの学 習支援事業」を実施し、学習習慣の定着を図るとともに、社会 性を育む子どもの居場所を提供しています。	子育て支援課	学習支援事業「コスモス」 中央公民館 97回 登録者数小学生4名 中高校生9名 合計13名 ふれあい文化館 52回 登録者数小学生12名 中高校生11名 合計23名 中央駅前交流館 46回 登録者数小学生5名 中高校生8名 合計13名	実施できた	生活保護世帯、ひとり親世帯、生活困窮世帯等に4年生 から 18 歳までを対象に、毎週水曜日と土曜日、日曜日に「子どもの学 習支援事業」を実施し、学習習慣の定着を図るとともに、社会 性を育む子どもの居場所を提供ができた。	有	生活困窮世帯「準要保護児童生徒」に対して教育委員会等と連携して事業の周知及び居場所の提供を丁寧に伝えていく
3	1	施策2 子どもの体験活動の充実									
3	1	2	①	多様な体験活動の提供	○奉仕等体験活動や自然科学体験学習、みどりの少年団活動など の実施に努めます。	指導課	○奉仕等体験活動とみどりの少年団活動を各小中学校で実施した。など の実施に努めた。自然科学体験学習については、教育センターが改装中だったため、夏季休業中に希望した小学生を対象としてオンラインで実施した。	一部実施できた	教育センターの改装のため、当初予定していた自然体験学習を実施できなかったため	有	継続的に実施していくが、教育センター会場の事業について、駐車場利用が多く実施日の調整が難しい。
3	1	2	②	スポーツ活動の推進	○スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブへの継続的な支援 に努めます。 ・軟式学童野球(8団体) ・空手道(5団体) ・サッカー(3団体) ・ラグビーフットボール(1団体) ・ミニバスケットボール(1団体) ・バレーボール(1団体) ・卓球(1団体) ・柔道(1団体) ・軟式中学野球(1団体) ○主に中学生を対象としたスポーツ教室を実施しています。 (これまでに実施した競技) 陸上競技、テニス、水泳、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン等	スポーツ振興課	印西市スポーツ少年団運営補助金を交付するとともに、総合型スポーツクラブの活動場所の確保などの支援を行った。 小中学生を対象にアスリート教室を実施した。 ・R3 空手 ・R4 野球 ・R5 トランポリン ・R6 クライミング・バスケットボール	実施できた	実施内容に沿って事業を行えた。また、令和6年度はアスリート教室を2回行った。	有	○スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブへの継続的な支援に努めます。 ・軟式学童野球 ・空手道 ・サッカー ・ラグビーフットボール ・ミニバスケットボール ・バレーボール ・柔道 ○主に小中学生を対象としたスポーツ教室を実施しています。 (これまでに実施した競技) 空手、野球、トランポリン、バスケットボール、クライミング

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート

章	基本 目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価 【▼】	評価の根拠	次期計画 (こども計 画)への掲 載の有無	課題・今後の方向性
3	2	基本目標2 子どもと親の健康づくりと子育て家庭への支援の充実									
3	2	施策1 子どもと親の健康づくりの推進									
3	2	1	①	安心して妊娠・出産できる環境の確保	○母子健康手帳交付事業、プレマクラス、妊婦健康診査、妊産 婦・新生児訪問事業(乳児全戸訪問事業含む)、助産師等による 電話相談事業などを引き続き実施します。 ○出生時の体重が 2,000 グラム以下、または身体の発育が未熟な まま生まれ、指定医療機関への入院を必要とする乳児に対し、治療にかかる医療費を公費で負担します。	子ども家庭課 子育て支援課	【子ども家庭課】 プレマクラス2回×6コースにより妊婦延べ166人、家族142人の参加。妊婦健康診査延べ9,184件、妊産婦・新生児訪問事業(乳児全戸訪問事業含む)790件、助産師等による電話相談事業1,613件実施した。 【子育て支援課】 ・未熟児養育医療の給付 64件	実施できた	【子ども家庭課】 計画通り実施できたことにより、安心して妊娠・出産できる環境の確保に努めることができた。 【子育て支援課】 未熟児養育医療に対する給付により保護者の経済的負担の軽減を図ることができ、出産後の不安解消に努めることができた。	有	【子ども家庭課】 妊婦健康診査について、安全な出産に必要な検査について公費負担を実施しているが、今後は安心して出産に臨め、母性や父性を育むことにつながるような検査について公費負担を拡大するか検討していく。 【子育て支援課】 手続き方法等についてホームページ等でお知らせしていく。
3	2	1	②	乳幼児に対する相談・健康診査の充実	○乳児相談事業、乳児健康診査、幼児健診(1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診)、健診事後相談事業(子育て相談、ことばの相談等)などを引き続き実施します。	子ども家庭課	1歳6か月児健診、35回、受診率95.0%、2歳児歯科健診、通年個別健診、81.3%3歳児健診、43回、受診率95.0%。健診事後相談として心理士、保健師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士の相談を実施。相談事業として、LINE、電話、来所、訪問、児童館等での移動相談、こころ相談(4か月児)、5歳児相談を実施した。	実施できた	匿名での気軽な相談や児童館等へ遊びにきながら受けられる相談から、専門的な相談まで、多様なニーズに対応できる体制の充実を図った。	有	今後も関係機関と連携し、さらに市民のニーズに対応できる体制を充実させていく。
3	2	1	③	「食育」の推進	○離乳食教室、親子食育教室、就学時健診健康教室、家庭教育 学級、出前講座などを引き続き実施します。	子ども家庭課	離乳食教室は初期向けオンライン教室6回、参加者90人、中期、後期・完了期向け参集型教室各5回参加者87人。親子食育教室3回参加者30人。出前講座4回、参加者数54人。その他、依頼教育や就学時健康診断に合わせた指導資料配布、市公式YouTubeによる動画配信等を実施した。	実施できた	離乳食の保護者による試食や親子料理教室など新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止していた事例を再開し、より市民に伝わる内容で実施することができた。	有	今後も市民の生活状況やニーズを捉え、事業内容をブラッシュアップしていく。
3	2	1	④	小児救急医療体制の充実	○救急医療運営事業への財政支援、小児救急相談事業等の周知 などを実施しています。	健康増進課	令和6年度の印旛都市小児初期急病診療所の印西市民の利用件数は、154件であった。また、印西市公的病院等運営費補助金交付要綱に基づき、小児救急医療支援事業を実施している病院に対し、補助金の交付を行った。	実施できた	印西市公的病院等運営費補助金交付要綱を改正するため、小児救急医療支援事業を実施している病院に対する補助金額の増額の検討を行った。	有	印旛都市小児初期急病診療所及び公的病院等運営費補助金交付事業については、現行のまま継続して実施するとともに、一層の周知を図っていく。
3	2	施策2 障がいのある子どもと家庭への支援の充実									
3	2	2	①	障がいの早期発見・早期対応など	○幼稚園、保育園、保健センター、医療機関等と連携を図ることにより、障がいを早期に発見できるよう努めます。	障がい福祉課	・幼稚園、保育園、子ども家庭課、医療機関等と巡回相談やケース会議等を実施し、連携を図ることにより障がいを早期に発見できるよう努めた。	一部実施できた	・5課担当者会議を行い、情報共有を図った。 ・相談窓口や担当課等を明確にして適切な窓口へ迅速につながるよう、関係部署と連携し「いんざいこどもサポートガイド」を作成した。 ・巡回相談の希望がなかった幼稚園・との連携が十分に取れたため。	有	幼稚園、保育園、保健センター、医療機関等と連携を図ることにより、障がいを早期に発見できるよう努めます。 特に幼稚園・保育園との関係構築に力を入れ障がいの早期発見・早期対応に努めています。
3	2	2	②	療育相談・指導、情報提供の充実	○日常生活における基本的な動作、集団生活への適応訓練等様々なニーズに応じて、適切な指導ができるよう療育体制の充実を 図ります。 ○就学前の子どもの成長や発達の心配について相談を受け、専門 の職員がアドバイスをを行う各種相談事業(発達相談、小児神経 相談、作業療法相談、運動発達相談、言語聴覚相談、巡回相談) の充実を図り、適切な指導及び療育につなげています。 ○ホームページへの掲載や各関係機関にチラシ等を配布し、情報 提供を行います。	障がい福祉課	・療育契約者83名に対し、利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み課題を設定し療育を行った。小集団の中で困り感が改善されたり、生活習慣や行動が身についた。 ・就学前の子どもの発達の心配について相談を受け、専門の職員がアドバイスを行う各種相談事業を実施し、適切な支援及び療育に繋がった。 ・学童期から18歳までの相談に関しては、必要な情報の提供やアドバイス、他機関の紹介を行った。 ・保育所等訪問支援を利用している子どもが在籍する園との連携を密に行い、支援環境を整えることができた。 ・障害児相談事業では子ども発達センター療育利用児ほぼ100%の計画相談を実施し保護者支援の充実を図ることができた。	実施できた	実施内容として計画記載している内容の実績に基づくもの	有	・引き続き計画記載している事業内容について実施していきます。 ・幼稚園・保育園・発達支援事業所などにおける支援の現状及びニーズについて把握し、児童発達支援センターとして支援の必要な児に対する支援体制の強化に努めます。 ・幅広い相談に対応できる専門性に基づく発達支援・家族支援を提供できるように努めていきます。 ・児童発達支援に関することや療育に関する好事例などを積極的に発信していきます。
3	2	2	③	障がい児保育・教育の充実	○特別支援教育の充実に努めます。 ・個別の指導計画や個別的教育支援計画の作成と活用 ・指導補助や支援のための非常勤職員の配置 ・特別支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制の充実	学務課 指導課	【学務課】 学習指導員63名、支援員47名を採用した。 【指導課】 ○各小中学校において特別支援教育の充実に努めた。 ・個別の指導計画や個別的教育支援計画の作成と活用 ・指導補助や支援のための非常勤職員の配置 ・特別支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制の充実	実施できた	【学務課】 支援体制の推進に向け、計画通り実施することができた。 【指導課】 学校への訪問や、北総教育事務所訪問時に、担当課職員が確認した。	有	【学務課】 支援の充実に向けて引き続き雇用の拡充と体制の整備を進めていく。 【指導課】 継続して実施していく。
3	2	2	④	福祉サービスの充実	○全ての子どもが、健やかに成長するため、乳幼児療育部署、保育・教育部署等との連携を図り、専門的で良質かつ適切な 支援を受けられるよう支援しています。	障がい福祉課	障害児通所サービスの利用につながった。 庁内の関係部局等と連携を図り、情報共有を行った。	実施できた	R5:申請972件(新規申請159件) R6:申請1,335件(新規申請193件)	有	障がいのある子どもに対し、障がいの状況に応じた適切な支援を受けられるよう支援します。
3	2	施策3 ひとり親家庭への支援の充実									
3	2	3	①	経済的支援制度等の充実	○ひとり親家庭等医療費助成、児童扶養手当、自立支援教育訓練 給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業、高等学校卒業程度 認定試験合格支援事業、ファミリー・サポート・センター利用 料金助成を実施しています。	子育て支援課	ひとり親家庭等医療費助成6,261件 児童扶養手当受給者368名 自立支援教育訓練給付金助成4件 高等職業訓練促進給付金助成13件	実施できた	ひとり親家庭等の対象者へ助成事業や給付事業を行うことで、必要な方への経済的負担軽減に努めることができた。	有	必要とする人に情報が届くようホームページや広報等で情報提供・周知していく。
3	2	3	②	相談体制の充実	○ひとり親の自立に必要な助言や支援を行うための相談体制を 整備・充実します。	子育て支援課	母子・父子自立支援員、女性相談支援員業務の研修に計3回参加	実施できた	研修に参加することで研鑽を深め、相談支援に活かすことができた。	有	相談技術の向上に向けて、必要な研修を適宜受講し相談支援の充実を図る
3	2	施策4 児童虐待を防止する体制づくりの推進									
3	2	4	①	虐待の発生予防	○子育て家庭の不安や悩みの解消に向け、相談体制の整備充実に 努めます。 ○出産後間もない時期を中心に支援を行います。	子ども家庭課	家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。 また、出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦である特定妊婦について、関係機関で連携して、妊娠期から切れ目のない支援を行った。	実施できた	・令和6年度家庭児童相談件数:335件 ・令和6年度特定妊婦数:8人	有	引き続き、家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図っていく。 また、特定妊婦について、関係機関で連携して様々なケースへの対応に努めていく。
3	2	4	②	虐待の早期発見・早期対応	○「印西市子ども虐待防止対策協議会」を組織し、関係機関等 との連携により、虐待の早期発見・早期対応に努めます。また、実務者会議や個別支援会議を設置し、個別の事案に 対する情報共有や具体的な支援内容等を検討します。	子ども家庭課	虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ることで、虐待の早期発見・早期対応に努めた。	実施できた	令和6年度の会議実施状況 ・協議会:1回 ・実務者会議:4回 ・個別支援会議:18回 ・進行管理会議:8回	有	引き続き、虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関と連携し、虐待の早期発見・早期対応に努めていく。

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート											
章	基本 目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価 【▼】	評価の根拠	次期計画 (こども計 画)への掲 載の有無	課題・今後の方向性
3	3	基本目標3 個性豊かな子どもを育む教育の充実									
3	3	施策1 家庭・地域の「教育力」の向上									
3	3	1	①	家庭教育への支援の充実	○家庭教育学級を実施します。 ・公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級の開設 ・家庭教育指導員の配置	生涯学習課	家庭教育学級を実施した。	実施できた	・家庭教育指導員の配置幼稚園1学級、小学校23学級、中学校10学級、計34学級開設 ・家庭教育指導員を配置	有	今後も公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級を開設、家庭教育指導員を設置し、家庭教育学級を実施します。
3	3	1	②	地域の「教育力」の向上	○地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業を実施します。 ・中学校区ごとに学校や地域で活躍する団体が協力し、コミュニティづくりと生活環境の整備を図る地域ぐるみさわやか コミュニティ推進事業の推進	生涯学習課	地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会に対して、社会教育関係補助金を交付した。(6中学校区)	実施できた	社会教育関係補助金の交付実績による。 (1団体5万円)	有	令和7年度から学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入したが、今後、地域学校協働活動(本部)を推進していく必要がある。本事業と内容が重複する部分もあると考えられることから、整理が必要である。
3	3	施策2 就学前教育の充実									
3	3	2	①	幼児教育についての情報提供	○情報提供と学習機会の充実に努めます。 ・幼児教育に関する様々な情報提供 ・組織的・計画的な園内研修の推進 ・保護者や地域懇談会の開催	指導課	○幼保小架け橋プログラム等を通して情報提供と学習機会の充実に努めた ・幼児教育に関する様々な情報提供 ・組織的・計画的な園内研修の推進 ・保護者や地域懇談会の開催	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 印西市在住の幼児が通う市外の保育園や幼稚園等や、市内在住の就園していない幼児の家庭に十分な情報が提供できない。
3	3	2	②	幼稚園における教育、子育て支援の充実	○個に応じた教育の推進に努めます。 ・子ども発達センター、健康増進課等の連携 ・相談支援ファイルを活用した早期就学相談の実施 ・介助や指導補助のための非常勤講師の配置	指導課	○担当4課担当者会議を通し情報共有するとともに、以下の事業をとおし、個に応じた教育の推進に努めた。 ・子ども発達センター、健康増進課等の連携 ・相談支援ファイルを活用した早期就学相談の実施 ・介助や指導補助のための非常勤講師の配置と、研修会の開催	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 印西市在住の幼児が通う市外の保育園や幼稚園等や、市内在住の就園していない幼児の家庭に十分な就学に関する情報が提供できないことがある。
3	3	2	③	幼稚園、保育園等、小中学校との連携体制の強化	○幼稚園・保育園等・小中学校の連携を充実します。 ・職場見学や体験を通しての交流 ・諸行事を通じての交流 ・情報交換会の開催	指導課	○幼稚園・保育園等・小中学校の連携の充実に努めた。 ・職場見学や体験を通しての交流 ・諸行事を通じての交流 ・情報交換会の開催	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 市外を含め該当する保育園や幼稚園等の数が多く、同一の園から幼児が就学する小学校が市内全域に及ぶことや、個人情報保護の観点より詳細な情報共有が難しい。
3	3	施策3 学校教育の充実									
3	3	3	①	確かな学力の育成	○個性や能力を伸ばす教育の推進に努めます。 ・学級経営相談支援の実施 ・漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」の実施 ・計算力認定テスト「印西計算マスター」の実施 ・生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開の推進 ○指導法等の研修の充実に努めます。 ・教材研究等に関する研修会の開催 ・ICT実技研修会及びICT活用研修会の開催	指導課	○個性や能力を伸ばす教育の推進に努めた。 ・学級経営相談支援の実施 ・漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」を全小中学校で実施 ・英語コミュニケーション認定テスト「印西英語マスター」の全小学校で実施 ・生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開の推進 ○指導法等の研修の充実に努めた。 ・教材研究等に関する研修会の開催 ・ICT実技研修会及びICT活用研修会の開催	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」については、児童の学習状況や実態をより見直し、令和8年度から一人一台端末を用いた論理的思考力の向上を目的とする教材の作成中である。
3	3	3	②	豊かな心の育成	○道徳教育の充実に努めます。 ・道徳教育全体計画の改善と校内推進体制の充実 ・道徳教育授業実践研修会の開催 ○人権教育の推進に努めます。 ・人権教育全体計画の改善と心を育てる教育の充実 ・人権教育研修の実施 ・いじめに関するアンケートの定期的な実施 ・家庭・地域や関係機関との連携による人権意識の啓発 ○文化芸術体験事業の充実に努めます。 ・さわやかハートフルコンサートの開催 ・小学校芸術鑑賞教室の開催	指導課	○道徳教育の充実に努めた。 ・道徳教育全体計画の改善と校内推進体制の充実 ・道徳教育授業実践研修会の開催 ○人権教育の推進に努めた。 ・人権教育全体計画の改善と心を育てる教育の充実 ・人権教育研修の実施 ・いじめに関するアンケートの定期的な実施 ・家庭・地域や関係機関との連携による人権意識の啓発 ○文化芸術体験事業の充実に努めた。 ・さわやかハートフルコンサートの開催 ・小学校芸術鑑賞教室の開催	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 文化芸術体験事業については、対象児童生徒数の増加及び、利用するバス代金の高騰にに応じられるよう、開催場所および予算確保にも努める。
3	3	3	③	健やかな体の育成	○学校体育の充実に努めます。 ・中学校武道学習における外部指導者の活用 ・運動を楽しむ能力を育成するための授業改善指導 ○運動部活動の充実に努めます。 ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・部活動補助金交付事業による経済的支援 ・部活動の適切な運営に向けた指導・助言 ○健康教育の充実に努めます。 ・保健指導教材の整備 ・薬物乱用防止教育の推進	指導課	○学校体育の充実に努めた。 ・中学校武道学習における外部指導者の活用 ・運動を楽しむ能力を育成するための授業改善指導 ○運動部活動の充実に努めた。 ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・部活動補助金交付事業による経済的支援 ・部活動の適切な運営に向けた指導・助言 ○健康教育の充実に努めた。 ・保健指導教材の整備 ・薬物乱用防止教育の推進	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。
3	3	3	④	悩みごと相談体制の充実	○教育相談の充実に努めます。 ・面接相談・電話相談の充実 ・不登校児童生徒等の相談の充実 ・関係機関との連携 ・訪問指導の充実 ・スクールカウンセラー等の活用 ・学校諸問題に対する助言・指導	指導課	○教育相談の充実に努めた。 ・面接相談・電話相談の充実 ・不登校児童生徒等の相談の充実 ・関係機関との連携 ・訪問指導の充実 ・スクールカウンセラー等の活用 ・学校諸問題に対する助言・指導	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。 不登校児童生徒数が増加している観点からも、多様な学び場の提供について設置に努める。

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート											
章	基本 目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価 【▼】	評価の根拠	次期計画 (こども計 画)への掲 載の有無	課題・今後の方向性
3	3	3	⑤	信頼される学校づくり	○安全教育の充実に努めます。 ・交通安全教室の実施 ・防犯教育の実施 ○児童生徒・園児の安全確保に努めます。 ・学校安全に関する計画やマニュアルの見直しと定期的な 施設点検 ・防犯ブザー及び自転車通学用ヘルメットの貸与 ○通学路の安全確保に努めます。 ・全小中学校区の安全マップの作成及び関係機関への配布 ○学校情報公開と地域の連携に努めます。 ・学校ホームページを活用した学校広報の充実 ・地域人材の活用	指導課	○安全教育の充実に努めた。 ・交通安全教室の実施 ・防犯教育の実施 ○児童生徒・園児の安全確保に努めた。 ・学校安全に関する計画やマニュアルの見直しと定期的な 施設点検 ・防犯ブザー及び自転車通学用ヘルメットの貸与 ○通学路の安全確保に努めた。 ・全小中学校区の安全マップの作成及び関係機関への配布 ○学校情報公開と地域の連携に努めた。 ・学校ホームページを活用した学校広報の充実 ・地域人材の活用	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。 学校HPのCMSを入れ替え、セキュリ ティー面での向上をした。	有	今後も継続して実施していく。
3	3	施策4 次代の親の育成									
3	3	4	①	人権教育の推進	○人権教育の推進に努めます。 ・人権尊重や男女共同参画の視点に立った各教科での実施	指導課	○人権教育の推進に努めた。 ・人権尊重や男女共同参画の視点に立った各教科での実施 ・SOSの出し方教育やSNS利用時等の情報リテラシー講座の実施	実施できた	実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	今後も継続して実施していく。
3	3	4	②	思春期保健対策	○新生児科医師による命の授業、助産師及び保健師による性に関する教育、妊婦疑似体験、沐浴人形の貸出などを実施します。	子ども家庭課 指導課	【子ども家庭課】 命の授業を3校、性に関する教育を公立小中学校全校で実施した。 【指導課】 ○新生児科医師による命の授業、助産師及び保健師による性に関する教育、妊婦疑似体験、沐浴人形の貸出などを実施します。	実施できた	【子ども家庭課】 計画通り実施できたことにより、児童生徒に命や性について考える機会を作ることができた。 【指導課】 実施内容にあるように、事業を実施することができた。	有	【子ども家庭課】 新生児科医師の申し出により、命の授業は令和6年度で終了となり、これまでに、中学校全校に3回ずつの指導の機会となった。今後は全体向けの対策を続ける一方で、早熟な児童生徒への関わり方について、教職員と母子保健担当者が共に学び意見交換ができる場を設定していく。 【指導課】 今後も継続して実施していく。 新生児科医師による命の授業については、令和6年度で終了とする。
3	3	4	③	父親育児支援事業の推進	○父親育児セミナー実施 ・仕事と子育ての両立に向けて、父と子を対象とした実技型の 育児セミナーの実施 ○父親子育て手帳配布 ・母子健康手帳の配布時に、父親が子育てに参加するための基礎 知識を掲載した父親子育て手帳の配布	子育て支援課	【祖父母講座参加数】10月18日開催 11名 祖父母手帳 1,000冊発行(母子健康と一緒に配布) 【父親セミナー参加数】12月8日開催 8家族 父親8名 子ども10名 順天堂大学講師学生 8名 父子健康手帳 1,000冊発行(母子健康と一緒に配布)	実施できた	今と昔の育児について祖父母世代がお互いの育児について理解を深め、地域で子育てをサポートする祖父母講座の実施や冊子の作成を行った。また、ワークバランスを図りながら子育てのできる社会の実現に向けて、父親に寄り添った父子健康手帳の作成や父親セミナーを実施ができた。	有	父親セミナーや祖父母講座については引き続き行っていく。父子健康手帳及び祖父母手帳に関しては、ホームページにて閲覧できるよう検討していく。

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート											
章	基本目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価【▼】	評価の根拠	次期計画(こども計画)への掲載の有無	課題・今後の方向性
3	4	基本目標4 子育て家庭が住みよい環境づくり									
3	4	施策1 地域子育て支援の充実									
3	4	1	①	子育て支援センター(地域子育て支援拠点 事業)の充実	○子育て支援センターでは子どもの遊び場を通して親子の交流を図るとともに、発育や健康、子育てに関する悩みや疑問についての相談や親子のふれあいを提供しています。 ○滝野子育て支援センター、小林子育て支援センターのほか、各児童館・保育園内に子育て支援センター等を設置し、「地域子育て 支援拠点 事業」を実施しています。 【主な事業】 ・子育て講座、子育て相談、離乳食講座、ベビーマッサージ、リズム遊び、公園遊び、親子のふれあい事業、母親講座など	子育て支援課	市内21か所 利用者数70,853人	実施できた	予約制や時間制限をなくし自由来館にしたため利用者数の増加につながった	有	利用者の増加につながるよう、令和5年度から導入した入退館システムの利用についてや事業の内容等の周知を図っていく。
3	4	1	②	利用者支援事業の実施	○育児に関すること、幼稚園・保育園等の入園に関すること、子育て支援サービスに関することなどについて利用者支援専門員(子育てコンシェルジュ)が窓口や電話及び児童館・子育て 支援センター等で相談、情報提供、助言を行います。	子育て支援課	相談件数294件 (電話相談8件、窓口相談7件、移動相談279件)	実施できた	未実施地域の相談場所を2か所増やしたことで事業の周知を図ることができた。	有	引続き巡回場所と連携し、利用者の利便性のさらなる向上や相談内容の充実を図っていく。
3	4	1	③	ファミリー・サポート・センター事業の実施	○乳幼児から小学生の保護者等を会員とした組織(育児の援助を 行いたい人と育児の援助を希望する人)による、相互援助活動の 支援を行います。 【援助内容】 ・保育施設等の開始時間まで、児童の一時預かり ・保育施設等の終了時間後、児童の一時預かり ・保育施設等と援助活動を行う場所までの児童の送迎 ・保育施設等の休日などの事由がある場合、臨時的な児童の預かり ・冠婚葬祭や他の児童の学校行事の際に児童の一時預かり ・その他	子育て支援課	利用会員 893名 提供会員 108名 両方会員 120名 合計1,121名 実績活動回数1,923回 総時間数 2,692時間 町内回覧1回 広報誌掲載1回 年間周知回数 通年 ファミリー・サポート・通信発行5回	実施できた	提供会員及び両方会員に向けて丁寧な研修を行い、新規会員に向けて広報掲載や町内回覧を行った。	有	利用会員の登録数に対して提供会員数及び両方会員数が少ないため、会員登録等わかりやすいチラシを作成し、引き続き会員募集について周知を図っていく。
3	4	1	④	子育てヘルプサービス事業の実施	○在宅している妊産婦や一時的に家事、育児等の支援が必要な家庭に対し、ホームヘルパーを派遣することにより、保護者と 児童等(小学生まで)の生活の安定を図り、ゆとりある子育てを 支援します。 【サービス内容】 ・育児に関すること(授乳、沐浴、おむつ交換等) ・妊産婦の身体介助 ・家事に関すること(食事の準備、後片付け、買い物、洗濯、居室 の掃除など)	子ども家庭課	産前産後の事由、育児及び家事支援の事由のいずれかにおいて利用ができるが、前年度は産前産後からの申請者が、今年度は育児及び家事支援として継続している人や、毎年利用されている申請者と利用率は新規者も含めて増えた。R6年度は公募型プロポーザルを行い、R7.3月からLINEシステムを導入した。R7.4月から申請や利用時間の管理、オンライン決済も可能、時間の拡大など、利用者の利便性が向上する運用開始となる予定。	実施できた	新規利用者に関しては初回訪問が必須であり、事業者にとっては顔合わせを事前に行うことで、スムーズな運用に移行できていたが、利用者からはすぐに利用できないとの声や初回面談に不満を持つ申請者もいたため、次年度の運用の形態を見直す必要がある。	有	産前産後の事由で利用すると、その後の育児期に利用したくても利用できないという運用状況であるため、次年度は利用時間の拡大が必要。オンライン決済を導入し、利用者の利便性を向上させるとともに、未納者に対する利用制限を設ける等対策を講じていく。
3	4	1	⑤	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)の実施	○保護者の疾病、育児疲れ、出産、看護、事故、冠婚葬祭、出張 などにより、家庭での養育が一時的に困難になった子どもに ついて、児童養護施設等の利用により必要な保護を行います。	子ども家庭課	乳児院が感染症などで一時利用不可になったり、里親登録者が少ないことで利用者が重なるなど運用が厳しかったりとあったため、里親登録者の拡大を目指し、養育環境の確認や面談を実施し次年度に向けて準備ができた。利用者は前年度からの利用者が継続しての利用や、新規も数人利用された。	実施できた	年間の利用者数としては多くはないが、兄弟複数いる利用者が別々の施設で預かりもあったので、里親登録者の拡大実施の運用準備ができて良かった。	有	令和6年度から7年度に向けて、里親登録者の拡大実施の運用準備ができたが、受け入れの対象年齢が拡大したことを受け、より里親登録者が増えるように努めていきたい。
3	4	1	⑥	ブックスタート事業の実施	○乳児相談対象の赤ちゃんと保護者に対して、乳児相談の会場において、ボランティアによる絵本の読み聞かせ及び絵本のプレゼントを実施します。	子育て支援課	ブックスタート実施回数:53回 参加者:453人 送付人数:313人 訪問人数:6人 総人数:772人 絵本配布数:772冊	実施できた	児童館等においてブックスタート事業を行い、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを行った。また、ボランティアの人材を増やすため、講座の際に読み聞かせボランティアの案内や、ボランティアセンター(社会福祉協議会)に読み聞かせを行う団体の把握に努めた。	有	例年、「ころころ相談」と同時に行っていたが、今年度からブックスタート事業のみでの実施となるため、ブックスタートの周知方法を検討していく。また、ボランティアの人材確保に課題があるため、他機関への協力を仰ぎながら人材確保に努めていく。
3	4	1	⑦	子育て世代包括支援センターの設置	○妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦・乳幼児等の実情を把握し、妊娠・出産、子育てに関する各種の相談、情報提供、助言、保健指導を行い、必要に応じて支援プランを策定し、保健、医療、福祉、教育等の関連機関と連絡調整をすることで、切れ目のないきめ細やかな支援を行います。	子ども家庭課	こども家庭センター型に移行し継続実施。	実施できた	妊娠届出時にプランを作成して周産期の相談に応じ、必要に応じて子育て期にわたり継続支援した。	有	要支援者や希望者に切れ目ない支援を提供できるよう、今後も関係課や関係機関と連携を図る。
3	4	1	⑧	子ども家庭総合支援拠点の整備	○子ども及び妊産婦等の福祉に関する支援業務を包括的・継続的 に行う拠点の整備を推進します。	子ども家庭課		実施できた	令和4年度に子ども家庭総合支援拠点を設置した。	無	
3	4	1	⑨	養育支援訪問事業の実施	○養育支援が必要である家庭に対して、適切な養育の確保を目的として、保健師や助産師、ヘルパーが訪問をします。	子ども家庭課	特に支援を必要とする家庭9件のうち、支援途中で児童相談係に移行したケースもあり、サポートプランは2件作成した。	実施できた	特に支援を必要とする家庭への継続した訪問支援を実施した。	有	サポートプランを活用し、継続した適切な支援を提供する。
3	4	1	⑩	産後ケア事業の実施	○産後ケアが必要である産婦及び乳児に対して、医療機関または助産施設において宿泊や通所による支援を提供します。	子ども家庭課	対象者を「産後ケアを必要とする出産後1年以内の産婦及びその乳児」へ拡大。申請者数73名、利用実人数(短期入所型)25人、(通所型)20人、(居宅訪問型)14人。業務委託先を、7事業者(短期入所型5、通所型2、居宅訪問型1)から11事業(短期入所型8、通所型8、居宅訪問型4)へ拡大。	実施できた	対象者要件の緩和、利用可能な施設の拡大により、申請者数、利用者数が大幅に増加した。多くの産婦の心身のケアや必要な支援に繋げることができた。	有	令和7年度から電子申請を開始し、より申請しやすくなることから、利便性が向上すると考える。引き続き、委託事業者と連携しながらスムーズに利用に繋ぐよう努める。

いんざい子育てプラン(第2期印西市子ども・子育て支援事業計画)事業評価シート											
章	基本 目標	施策	No	事業名・施策名	実施内容(計画記載内容)	担当課	令和6年度 実施状況	事業の評価 【▼】	評価の根拠	次期計画 (こども計 画)への掲 載の有無	課題・今後の方向性
3	4	施策2 多様な保育サービスの充実									
3	4	2	①	保育園等における保育サービスの充実	○延長保育、一時預かり事業、病児保育事業(体調不良児対応型) を実施します。	保育幼稚園課	実施している民間保育施設に補助金を交付し、より良い保育のため金銭的な面で支援を行った。	実施できた	【実施施設数】 延長保育 18か所 一時預かり事業 23か所 病児保育事業 17か所 (体調不良時対応型)	有	これらの事業自体は、今後も実施する。 事業の実態把握が課題となるため、現場の視察を通して随時見直しを行う。
3	4	2	②	安全に配慮した保育の推進	○安全への取り組みを推進するため、運営費補助金の充実を 図り、保育施設を支援します。 ○安全な保育を実現する体制をつくるため、保育士の処遇改善 補助金の充実を図り、保育士の確保に努めます。 ○衛生面の配慮や保護者の負担を軽減するため、保育園等で使用 したオムツは、各施設で処分します。	保育幼稚園課	運営費補助金及び処遇改善補助金においては、民間保育施設等に補助金を交付し、保育の充実のための支援を行った。	実施できた	【交付施設数】 運営費補助金 37か所 処遇改善補助金 36か所	有	民間保育施設等に運営費補助金及び処遇改善補助金を交付し、保育の充実のための支援を行う。 必要とされる支援を行うため、適宜見直しを図る。
3	4	施策3 子育て家庭に対する経済的支援の充実									
3	4	3	①	手当・医療費の助成等	○子ども医療費助成事業、高校生等医療費助成事業、児童手当 給付事業、児童扶養手当給付事業、ひとり親家庭等医療費等 助成事業などを実施しています。	子育て支援課	児童手当受給者11,088名(児童手当について令和6年10月の制度改正により対象児童や支給金額の増額等拡充された) 子供医療費助成件数359,310件	実施できた	制度改正に伴う手続きについてホームページや広報等で周知を図ることができた。	有	引き続き医療費や手当制度について子育て世代に対する周知に努めるとともに、出生や転入等新規に手続きが必要な方へ届く周知をしていく。